

問1 熱帯の地域で見られる、森林や草原を伐採して焼き払い、その際に生じる灰を肥料として利用する伝統的な農業を何といいますか。数年間の栽培によって土地が痩せると、別の場所へ移動して再び同じ工程を繰り返すという特徴があります。 (2021年 島根公立入試 類似)

1. 焼畑農業                      2. ブランテーション                      3. 地中海式農業                      4. 酪農

問2 国連の世界食糧計画 (WFP) などが行っている「学校給食プログラム」の目的として、その背景にある開発途上国の課題と解決策の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)

1. 家計を助けるために働く子どもが多いという課題に対し、学校で食事を提供することで教育を受ける機会を確保する。                      2. 農業の機械化が遅れているという課題に対し、学校に最新の農機具を導入して子どもの労働負担を軽減する。                      3. 特定の作物しか作れないモノカルチャー経済という課題に対し、学校で多様な作物の栽培方法を普及させる。                      4. 都市部への人口集中という課題に対し、地方の学校の給食を豪華にすることで農村への移住を促進する。

問3 南アメリカ大陸南部のアルゼンチンや、アフリカ大陸南部に位置する都市の気候について、日本などの北半球の国々と比較した際の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、これらの地域の統計資料では、7月付近に気温が1年の中で最も低くなる傾向が示されています。 (2020年 静岡公立入試 類似)

1. 地球が地軸を傾けて公転している影響で、北半球とは季節が逆転し、7月頃に冬を迎える。                      2. 赤道直下に位置しているため、1年を通じて気温の変化がほとんどなく、季節の区別が存在しない。                      3. 高緯度にあるため、1年を通じて偏西風の影響を強く受け、7月頃に最も気温が高くなる。                      4. 広大な砂漠地帯に位置するため、降水量が極端に少なく、1月頃に気温が最も低くなる。

問4 ブラジルのアマゾン川流域に位置する都市マナオスについて、一年を通じて月平均気温が27度から28度前後で推移し、季節による変化がほとんど見られない一方で、雨季には月間降水量が300mmを超えるような「年中高温多雨」となる気候区分を何といいますか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

1. 熱帯雨林気候                      2. サバナ気候                      3. 地中海性気候                      4. 温暖多雨気候

問5 世界各地の宗教と文化の関係について述べた文章において、インドネシアの状況を説明する際に、空欄に当てはまる最も適切な語句は何ですか。「インドネシアは、人口の約8割以上が( )を信仰しており、その数は一つの国としては世界で最も多い。この宗教は西アジアのメッカを聖地としている。」 (2026年 京都府公立入試 類似)

1. イスラム教                      2. キリスト教                      3. 仏教                      4. ユダヤ教

問6 南アジアに位置するパキスタンなどで広く信仰されており、モスクなどの宗教施設で多くの人々が祈りを捧げる姿が見られる宗教について、その特徴を説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。 (2021年 香川公立入試 類似)

1. 唯一神アッラーを崇拜し、聖地メッカに向かって一日に五回の礼拝を行う。                      2. 多くの神々を信仰する多神教であり、ガンジス川での沐浴を神聖な儀式としている。                      3. 厳しい修行によって悟りを開くことを説き、東南アジアや東アジアに広く普及した。                      4. イエスを救世主と信じ、日曜日には教会に集まって聖書を朗読する礼拝を行う。

問7 南ヨーロッパなどの、夏に乾燥し冬に雨が降るといった気候条件に適応した、この地域特有の農業の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 沖縄公立入試 類似)

1. 乾燥に強いオリーブやぶどうを育て、冬の雨を利用して小麦を栽培する                      2. 夏の豊富な降水を利用して稲作を行い、冬の温暖な気候で野菜を二毛作する                      3. 一年中安定した降水があるため、広大な牧草地で乳牛の飼育と飼料作物の生産を行う                      4. 高温多湿な環境を活かし、コーヒーや天然ゴムを大規模なプランテーションで生産する

問8 緯度の高い西ヨーロッパ地域が、緯度の割に冬でも比較的温暖な気候となっている理由について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2019年 高知公立入試 類似)

1. 高緯度まで北上する暖流の北大西洋海流の影響に加え、その上空を吹く偏西風が海上の暖かい空気を陸地へ運んでいるため。                      2. 赤道付近から吹く季節風が、大西洋の冷たい海水を押し流し、大陸内部の熱を沿岸部へと循環させているため。                      3. 寒流である千島海流がヨーロッパ沿岸を流れており、その影響を打ち消すほど強い偏西風が大陸から海へ吹いているため。                      4. 低緯度から吹く貿易風の影響で、大西洋の暖かい海水が常にイギリス周辺に留まり、上昇気流が発生しやすくなっているため。

問9 東アジアの温帯に位置するある都市では、7月の平均気温が約27度と非常に高く、1月の気温は0度近くまで下がります。また、年間降水量は約585ミリメートルで、夏季に雨が多くなり冬季に少なくなるという特徴があります。このような気候特性をもたらす最大の要因はどれですか。 (2024年 高山公立入試 類似)

1. 季節風 (モンスーン) の影響により、夏に海から湿った空気が流れ込み、冬は大陸から乾燥した空気が吹き出すため。                      2. 赤道付近の低圧帯の影響を一年中受けることで、上昇気流が発生しやすく、夏に大規模なスコールが発生するため。                      3. 偏西風と北大西洋海流の影響を強く受けることで、高緯度のわりに冬の気温が下がらず、一年を通じて雨が平均して降るため。                      4. 夏季に亜熱帯高圧帯に覆われることで乾燥し、冬季に温帯低気圧の影響で降水量が増加するため。

問10 山の斜面にどこまでも広がる大規模な茶畑や、果てしなく続くゴムの木のような景観を持つ農園について、その成り立ちや特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉公立入試 類似)

1. 植民地支配の歴史を背景に、先進国向けの輸出作物を拡大した土地で単一栽培する形態                      2. 家族労働を主として、自分たちが消費するための食料を多種類栽培する形態                      3. 家畜の飼育と穀物の栽培を組み合わせ、地力の維持を図りながら生産する形態                      4. 冷涼な気候を克服するため、温室などの設備を整えて特定の野菜を生産する形態

問11 ある地点の統計データにおいて、1月の平均気温がマイナス6.5度、7月の平均気温が19.2度と年較差が大きく、降水量は夏場にやや多いものの年間を通じて100mmを超える月がないという特徴が見られる。このような気候が見られる地域における自然環境や景観について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2017年 高知公立入試 類似)

1. 一年を通じて降水量が極めて少なく、植物がほとんど育たない砂漠が広がっている。                      2. 「タイガ」と呼ばれる広大な針葉樹林が分布しており、木材資源が豊富である。                      3. 一年中気温が高く降水量も多いため、多層にわたる密林である熱帯雨林が形成されている。                      4. 冬も比較的温暖であり、オリーブやブドウなどの耐乾性のある作物の栽培が盛んである。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 焼畑農業	熱帯のラトソルと呼ばれる痩せた土壌において、草木を焼いた後の灰を天然の肥料として活用する農法です。数年で作物を栽培するのに必要な養分が使い果たされるため、別の区画へ移動して元の土地の植生が回復するのを待つ、循環型の移動式農業としての側面を持っています。
問2	答え 1 家計を助けるために働く子どもが多いという課題に対し、学校で食事を提供することで教育を受ける機会を確保する。	開発途上国における教育の停滞は、貧困によって子どもが「労働者」にならざるを得ない構造に原因があります。学校給食は、空腹を満たすという直接的な支援だけでなく、学校を「食事を得る場所」と定義し直すことで、働くしかなかった子どもたちを教室に呼び戻し、教育という長期的な支援につなげる仕組みです。
問3	答え 1 地球が地軸を傾けて公転している影響で、北半球とは季節が逆転し、7月頃に冬を迎える。	地球は地軸を約23.4度傾けた状態で太陽の周りを公転しています。このため、北半球が太陽の方へ傾いて夏（7月頃）を迎えているとき、南半球は太陽から遠ざかる方向に傾くため冬となります。この現象により、南半球の都市の雨温図では、北半球とは逆に7月頃に気温のグラフが低く沈み込む曲線を描くのが特徴です。
問4	答え 1 熱帯雨林気候	赤道付近は一年を通じて太陽放射が強いため、季節による気温の変化（年較差）が非常に小さく、常に高温となります。また、強い日射によって上昇気流が発生しやすく、スコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るため、年間を通じて降水量が多くなるのが特徴です。
問5	答え 1 イスラム教	インドネシアは東南アジアに位置していますが、地理的に離れた西アジア発祥のイスラム教が最も広く信仰されています。これは中世以降のインド洋を経由した香辛料貿易などの交易活動が大きく影響しています。一方、タイやミャンマーなどは仏教徒が多く、フィリピンはキリスト教徒が多いなど、東南アジア内でも国によって主要な宗教が異なる点に注意が必要です。
問6	答え 1 唯一神アッラーを崇拝し、聖地メッカに向かって一日に五回の礼拝を行う。	パキスタンで最も多くの人々に信仰されているのはイスラム教です。イスラム教徒（ムスリム）は、唯一神であるアッラーを信じ、サウジアラビアにある聖地メッカの方向を向いて一日に五回礼拝を行うことが義務づけられています。また、偶像崇拝が厳格に禁止されているため、信仰の場であるモスクには神像や仏像のような偶像が置かれぬことも特徴です。
問7	答え 1 乾燥に強いオリーブやぶどうを育て、冬の雨を利用して小麦を栽培する	地中海性気候の地域では、夏の激しい乾燥に耐えられるよう、葉が小さく硬いオリーブや、深く根を張るぶどう、オレンジなどの果樹栽培が発達しました。また、冬には一定の降水があるため、その水分を利用して小麦を栽培する「地中海式農業」が伝統的に行われています。地形や気候の制限を克服し、環境に最適化した作物が選ばれている典型的な事例です。
問8	答え 1 高緯度まで北上する暖流の北大西洋海流の影響に加え、その上空を吹く偏西風が海上の暖かい空気を陸地へ運んでいるため。	西ヨーロッパの気候は、地形や海流、風の影響を大きく受けています。北大西洋には低緯度から暖かい海水を運ぶ「北大西洋海流（暖流）」が流れており、その上空を一年中西から東へと吹く「偏西風」が通過します。この偏西風が暖流によって温められた湿った空気を大陸側へ運ぶことで、西ヨーロッパは同緯度の他の地域（北海道よりも北に位置する場所など）に比べて、冬でも気温が下がりにくく温暖な気候（西岸海洋性気候）となります。
問9	答え 1 季節風（モンスーン）の影響により、夏に海から湿った空気が流れ込み、冬は大陸から乾燥した空気が吹き出すため。	東アジアの温帯気候は、ユーラシア大陸の東岸に位置するため、季節によって吹く方向が変わる季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。夏は海から陸に向かって湿った空気が運ばれるため、気温の上昇とともに降水量が増加します。一方、冬は冷たく乾燥した空気が大陸から吹き出すため、気温が下がり降水量も少なくなります。提示されたデータにある「夏が高温で多雨」という特徴は、まさにこの季節風のメカニズムによるものです。
問10	答え 1 植民地支配の歴史を背景に、先進国向けの輸出用作物を広大な土地で単一栽培する形態	プランテーションは、かつての宗主国（先進国）が自国の利益のために開発した歴史的背景があります。そのため、現地の自給用ではなく、国際市場で取引されるコーヒー、カカオ、天然ゴム、油やしなどの輸出用作物を一種類だけ大量に生産する「単一栽培（モノカルチャー）」が行われています。この形態は、特定の作物の価格変動が国の経済に大きな影響を与えるという課題も抱えています。
問11	答え 2 「タイガ」と呼ばれる広大な針葉樹林が分布しており、木材資源が豊富である。	月平均気温が氷点下になる月がある一方で、夏には20度近くまで気温が上がるというデータから、この地域は冷帯（亜寒帯）に該当します。冷帯では、厳しい冬に耐えられるエゾマツやカラマツといった針葉樹の純林（タイガ）が広がり、ロシアやカナダなどでは主要な産業資源となっています。乾燥帯や熱帯、温帯（地中海性気候）の特徴とは異なります。